

日本語スピーチコンテスト実施要綱

実施日：2024年11月2日（土）

要綱

学年	形式	評価
小学校 1年生・2年生 各学年5名 (計10名出場)	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス5名 ・テーマは「今年できるようになったこと」 ・時間の目安は1分～2分とするが、審査の対象にはしない。 ・忘れてしまった場合は、本人の希望により担当教員の助けもありとする。(ただし減点の対象になる) 	2学年合わせて上位3名に賞を与える。また、上位3名以外で、特別賞(努力賞)を与えることがある。
小学校 3年生・4年生 各学年4名 (計8名出場)	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス4名 ・テーマは「思いやり」 ・時間の目安は1分～2分とするが、審査の対象にはしない。 ・忘れてしまった場合は、本人の希望により担当教員の助けもありとする。(ただし減点の対象になる) 	2学年合わせて上位3名に賞を与える。また、上位3名以外で、特別賞(努力賞)を与えることがある。
小学校 5年生・6年生 各学年3名 (計6名出場)	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス3名 ・テーマは「私の一番好きな場所」 ・時間の目安は2分～3分とするが、審査の対象にはしない。 	2学年合わせて上位3名に賞を与える。また、上位3名以外で、特別賞(努力賞)を与えることがある。
中学部 1年生～3年生 各学年3名 (計9名出場)	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス3名 ・テーマは「私の心が安らぐ瞬間」 ・一人3分～3分半が目安(時間を知らせるベルは鳴らさないが、スピーチ終了後に時間を審査員に報告し、短すぎる場合や長すぎる場合には減点の対象になる) 	第1位～第3位
高等部 1年生～3年生 各学年3名 (計9名出場)	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス3名 ・テーマは「私は人のために何ができるか」 ・一人3分～3分半が目安(時間を知らせるベルは鳴らさないが、スピーチ終了後に時間を審査員に報告し、短すぎる場合や長すぎる場合には減点の対象になる) 	第1位～第3位

審査基準 以下の項目のもとに 50 点満点で点数をつける。

①**流暢さ** 10 点 …内容を覚えきれているか、流暢にスピーチができているか、など

②**聞き取りやすさ** 10 点

…発音が明瞭か、はきはきと大きな声か、抑揚・強弱をつけて発表ができているか、など

③**内容**：30 点

◎小学生編

A：テーマに沿っている？ B：主張をうまく伝えることができている？

C：順序良くはなすことができている？ D：聞いている人を引き付ける工夫がある？

E：スピーチの内容を深く、面白くすることができる？

◎中高生編

A：テーマをもとに主張を明確かつ適切に伝えられているか

具体的には … 明確さ、構成力、根拠があるか？

B：スピーチの内容が観客にとって説得的かつ飽きさせないものとなっているか

具体的には … 引き付ける工夫、オリジナリティ、説得力があるか？

④**時間**：減点対象（**中高生のみ**）（短すぎるか、長すぎる場合、**最大 10 点まで減点可能**）

⑤**姿勢態度**：減点対象とはしないが、**最低限スピーチにふさわしい姿勢・態度をとること**

注：内容に応じて身振り手振り等を行って構わないが、パフォーマンス自体のうまさに対し

加点は与えない。

⑥**努力点**：加点対象（**小学生のみ**）

児童のスピーチ練習を通じた**能力向上**を評価し、**合計点に加えて加点可能とする。**

例）普段スピーチに対し不慣れであったが、積極的に参加したことに対する加点など。